

**KORG MR-2000S クイックマニュアル V.1.01**

2009.09.08 by Mush and Morisaki / Seidara Mastering

弊社の標準のセッティングを、現場での注意点を中心に編纂したものです。

www.korg.co.jp/Product/DRS/MR-2000S

**<<録音時の設定>> RECORDING / MIXING**

1. 入力ソースの選択 (アナログXLR入力)  
MENU→ LIBRARY→ SYSTEM→ Input Source→ XLR→ ENTER
2. 録音フォーマットの選択  
MR-2000Sで録音再生はWSDで。  
MENU→ REC MODE→ New Project Type  
→ さらにダイヤルを回し詳細設定  
※ DSDフォーマットでの1GBあたりの録音時間の目安は  
2.8MHz→ 22分、5.6MHz→ 11分
3. 入力レベルの調整  
MENU→ INPUT LEVEL→ Input Gain L/R Link  
→ ダイヤルを回しゲインを選択→ ENTER  
※ ゲインの調整は録音待機中でも可能。
4. リファレンスレベルの設定  
MENU→ SYSTEM→ Ref. Level  
ダイヤルを回してゲインを選択→ ENTER
5. DSDフィルター(ON時 通常帯域50kHz -3.0dB)  
MENU→ SYSTEM→ DSD Filter  
ダイヤルを回して ON/OFFの選択→ ENTER
6. HDDのフォーマット  
MENU→ SYSTEM→ HDD Format  
ダイヤルでYesを選択し、ENTERを3秒以上押す。
7. プロジェクトネームの設定  
MENU→ SYSTEM→ Project Name→ Option  
User Nameにチェックを入れる。  
User Name Settingにカーソルを移動してNameを入力。  
(例)090908\_  
※ アンダーバーの後ろに\_0001、\_0002、とテイクナンバーが付きます。

## KORG MR-2000S クイックマニュアル V.1.01

2009.09.08 by Mush and Morisaki / Seidara Mastering

弊社の標準のセッティングを、現場での注意点を中心に編纂したものです。

www.korg.co.jp/Product/DRS/MR-2000S

## <<ファイル管理>> Archive 簡単です。必ずバックアップしましょう。

### 1. USBモードへの切り替え

MENU→USB MODE→ENTER→外付HDDとして認識されます。

※ ENTERを押しながら電源をONすると直接USBモードに入る。

### 2. HDDからMR-2000Sへの戻し作業注意ポイント

バックアップしたフォルダはMR\_PROJECTの階層に入れる。

※ AudioGateを使用してPCM Dataを

DSD Dataにアップコンバートした場合は、AUDIOフォルダに入れる。

### 3. フォルダ名変更に関して

MR-2000SとPCをUSBケーブルでつないで変更する。

フォルダ名の変更は可能

ただしファイル名は絶対に変えないこと。

※ 変えると、MR-2000Sが認識なくなります。

WSD\_0001.PRJ WSD\_0001\_001.WSD これらのファイル名は変えないで!

## <<Sync(同期)設定>> Multi channel

1. マスターにするMR-2000Sのリア面のS/P DIF OUTと、スレーブのリア面のS/P DIF INをS/P DIFケーブルで接続。

### 2. マスター、スレーブの設定

MENU→SYSTEM→MR Control Link

Master機→Master

Slave機→Slave

### 3. Clock Sourceの設定。

MENU→SYSTEM→Clock Source→ENTRE

Master機→INTERNAL

Slave機→S/P DIF

※ REC、PLAYの操作はマスター機で行う。